

今 後 の 予 定

3月	
19 日(火)	1.2 年 スタディサポート
22 日(金)	春季課外～26 日
4月	
6 日(土)	始業式・新任式 新 2,3 年クラス発表
8 日(月)	入学式 10:00～ 2,3 年 家庭学習 1 年 端末配付
9 日(火)	1 年 新入生研修～15 日 淵徳会入会式 対面式・部活動紹介(午後)
10 日(水)	1 年 少年犯罪防止講話 2,3 年 選手選出
11 日(木)	尿検査一次(1 日目)
12 日(金)	1,2,3 年 身体計測 尿検査一次(2 日目) 1 年 課題テスト
15 日(月)	2,3 年 朝課外開始
16 日(火)	体育大会団別結団式 5,6 限目
17 日(水)	学校交通安全日 体育大会結団式 委員会活動 1 年 心電図・胸部 X 線検査
18 日(木)	体育大会特別時間割～23 日
19 日(金)	1 年 スタサポ(JSS.JSF1.ST)
23 日(火)	尿検査二次(1 日目)
24 日(水)	終日練習～26 日 競技説明・招集確認 尿検査二次(2 日目)
25 日(木)	部活動編成(1 年 入部締切)
26 日(金)	体育大会予行(午後)
27 日(土)	体育大会練習(午前) 設営・準備(午後)
28 日(日)	体育大会

※予定は変更になる場合があります。

【第63回卒業証書授与式】



答辞全文の YouTube 動画は QR から

答辞を述べる米野さん

開会の辞、国歌斉唱ののち、卒業証書授与が行われました。299名の普通科の代表を川原くん(3F1日吉中)が、80名の理工科の代表を宇多田くん(3T2山中)が務めました。

学校長式辞では、竹下学校長より、次のような式辞が贈られました。「中国の古典『四書』の一つである『論語』の中に出てくる『今女は画れり(いまなんじはかぎれり)』という言葉は、『自分葉としします。この言葉は、自分



東大・医進コースから入場

2月29日(木)に、第63回卒業証書授与式を挙行了しました。普通科299名、理工科80名の計379名が学び舎から巣立ちました。本稿では、卒業証書授与式の概要をお伝えします。

熊本市西区池田 4-22-2
文徳高等学校広報部発行
TEL096-354-6416
FAX096-359-2373

- 生活信条
- 一、奉仕精神を旺盛にする
 - 一、人の立場を深く理解する
 - 一、物を大切にすること
 - 一、礼儀作法を実践すること



卒業証書授与 理工科代表 宇多田くん

の力が足りずいまだ先生の教えを身につけることができていないと自分自身の学力不足を嘆く弟子に対し、師である孔子が言った有名な言葉の一節です。孔子は「力足らざる者は、中道にして廃す。今女画れり」と言っています。齋藤孝さんの現代語訳によると「本当に力が足りないものなら、やれるだけやって途中で力を使い果たしてやめるはずだ。しかし、お前はまだ全力を尽くしていない。今お前は、自分で自分の限界をあらかじめ設定して、やらない言い訳をしているのだ」と訳されています。卒業の今、皆さんは人生の大きな岐路に立ち、一人一人が各自の進むべき道を選択し、夢実現のために新たな一歩を踏み出しました。これから先、幾度となく人生の選択を迫られる時がやってきます。自分のため、人のため、そして社会のために、いかに貢献するかということを念頭に置き、前向きに「今、何をすべきか、何ができるか」を考え、自分自身に限界を設けず、さらなる向上を目指し、全力を尽くしてチャレンジしてください。」

理事長祝辞では、中山理事長より、「卒業生の皆さんが歩まれる社会は、『ソサイエティ5.0』と呼ばれるサイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)が高度に融合した近未来的な社会です。社会の価値観そのものが変化することでしょう。一方、華やかな新時代と並行して、地球温暖化や生態系の破壊、侵略戦争など人類の危機にも直面しています。そのような社会、未来に恐れることなく、豊かで持続可能な社会を構築してほしい。そして、その答えは皆さんのなかにあるはずです。」と卒業生にエールが送られました。

その後、文徳会会長の池田貴也様より、「卒業生の皆さんが入学したときはコロナ禍でしたが、今年度は体育大会、文化祭が実施することができました。このような時代を生き抜いた世代だからこそ、これからの困難を乗り越えて豊かな人生を送れるはずです。」とお言葉がありました。祝詞祝電披露に続き、表彰状授与では、樫村さん(JSS玉南中)が熊本県知事賞を受賞しました。



送辞を述べる中野くん

続いて、在校生を代表して生徒会長の中野くん(JSS五霊中)、「3年生の姿は在校生の手本とになり、在校生を良い方向へ導いてくださいました。私はサッカー部に所属していますが、一点をもぎ取りに行く気迫や絶対に諦めない気持ちには私に強く印象づいています。これからも様々な面で先輩方が活躍することを期待しています。文徳高校での3年間は、この先、困難や苦悶を感じたときに、きっと助けになってくれると思います。」と送辞を述べました。

これに対して、卒業生を代表

して米野さん(JSS玉名中)が、「あしひきの 山桜花日並べて かく咲きたらば いと恋ひめやも」という万葉集の歌を引用して高校生活を振り返り、「両親へ。私の意志を尊重して文徳高校に3年間通わせてくれたこと、本当に感謝しています。文徳高校では素敵な出会いがたくさんありました。一生の友人ができました。恩師と呼べる先生方と出会いました。私を先輩と慕ってくれる優しい先輩ができました。たくさんの方に恵まれて過ごせた高校生活は、あの時、私の意志を尊重してくれた両親のおかげです。」と答辞を述べました。そして、今年は4年ぶりの校歌斉唱で卒業生は母校への別れを告げて閉会し、式後の記念品贈呈に移りました。

卒業生を代表して上野くん(3T2北部中)より、第一講義室用のスクリーンとプロジェクタが贈られました。その後の保護者代表の上野薫様の謝辞には、卒業生への思い、先生方への感謝の思いが溢れていました。最後に卒業生が、会場が一体となった拍手の中退場し、各クラスでの最後のホームルームに向かいました。ホームルームでは一人一人がメッセージを述べ、感謝の気持ちを伝えたり、思い出の映像を振り返ったりしました。

卒業生の皆さんの希望に満ちた門出を心から祝福します。ご卒業おめでとうございます。



クラスでメッセージを伝える様子

ご家庭からの返信欄

文徳点描 672 号～673 号

締切 4/12 (金)

ご家庭での生徒の様子や文徳点描の感想など自由にご記入ください。



ご家庭からの返信が
QR コードからできます！

年 クラス

No

生徒氏名

記入者名

「かつてとこれから」

進路指導部 進学編

2月29日は本当に素晴らしい卒業式でした。3年間この学年に関わらせてもらいましたが、入学時とは見違える子ども姿に大きな感銘を受けました。本年度最後となる本稿では、今までの人生とこれからの人生について話をしたいと思います。

高校を卒業するまでの約20年間は、主に「学力」や「テスト」という物差しで自分を測ることが多かったですね。あるいは、我々教師や周りの大人からも「学力」や「テスト」という物差しを当てられることが多かったかもしれせん。しかし、その物差しは今後の人生の中ではほとんど役に立ちません。それは、皆さんの「立場」が変化するからです。

今まではほとんどのケースで、お金を払う立場でした。だから、自分のニーズや言うことを聞いてもらえる。お金を払うからこそ周りの人に動いてもらえていたのです。しかし、近い将来、皆さんはお金をもらう立場になります。自分自身が動かなければならぬのはもちろんですが、例えば職場の同僚にも動いてもらわなければなりません。人を動かすことができませんか。どうすれば

も今ある仕事を好きになりますか。転職するのとき自分自身を変えるのはどちらのハードルが低いと思いますか。

多くの場合、後者の方が実は圧倒的にハードルが低いのです。今自分が置かれている環境に不満があれば、おそらく幸せを感じていないのでしよう。幸せを求め、環境を変えたいときに人は思うのです。ところが、今ある環境を変えるのはとても難しいコスト(お金や労力)が発生します。

しかも、変わった先の環境が自分にとってプラスになるかどうか、また不透明です。だからこそ、私たちは好きな仕事をする(幸福を得る)ためには、今ある仕事(今の環境)を好きになる方が圧倒的に楽なのです。もちろん、やむを得ず環境を変えなければならぬこともありますが、すべては自分の心ひとつ。皆さんの抱える悩みの大半を解くカギは心のソートではなく、ウチにあると思いませんか。



強歩会の途中にゴミを拾う生徒

公務員試験結果と就職事情最前線

進路指導部 就職編

社会環境の変化が目まぐるしい中、社会人としての第一歩を踏み出すことになった卒業生の皆さんへ、エールを送りたいと思います。これまでは、内定を得ることがゴールでしたが、企業は採用した人材をどう育てていくか、入社後の指導に生き残りをかけています。地味陽明町に、世界が目指す半導体受託生産最大手TSMCの工場が完成しました。さらに驚くことに、隣接地に新たな第2工場の建設が発表されました。九州地域での経済波及効果は、10年間で20兆770億円ともいわれています。社会の大きな変化に伴い、新しい職種や技術が生まれ、求められる人材にも変化が見られます。好奇心旺盛で変化を楽しめる人、チームワークを大切にできる人、慣れない言語でも前向きに取り組んでいく人など、今より今後の可能性を大きく持っている人に、企業は大きな魅力を感じています。本校は、4つの大きな生活信条の下、社会の幅広い分野で逸材を輩出してききました。勤勉で誠実であり、ルールを守り集団生活を大切に長い伝統の下で培われてきた校風は、これからの日本の未来を切り開く大きなエネルギーを秘めています。

まず、多くの人とかわり、多くの人のために汗を流し、地域社会から信頼され、一人前の立派な社会人として新しい日本社会を支えていける大きな存在になってください。卒業生諸君の健闘をお祈りします。

遅くなりましたが、公務員試験の結果がまとまりました。公務員受験者19名、延べ人数の一次合格者25名、二次合格者15名。最終的な進路先は、国土交通省東地方整備局1名、九州防衛局1名、兵庫県警署1名、熊本県警察官1名、熊本市職員2名(機械1、電気1)という状況でした。1次試験から始まり、2次試験、採用面接と道のりは大変遠かったと思いますが、最後までよく頑張ってくれました。

1月13日(土)、厚生労働省主催の就職支援事業「2年生対象就職ガイダンス」を実施しました。(株)東京リーガルマインドの講師3名の先生方に、「コミュニケーションの基本を学ぶ」、「社会・仕事を学ぶ」、「グループワーク」、「自己紹介文を作る」、「面接を体験する」という各テーマに沿って指導を頂きました。冒頭、「未来の自分に責任を持てるのは、今の自分しかありません。」という話があり、凛とした空気のなかでガイダンスはスタートしました。第一印象とマナーでは、心を伝えるためには形を整えることの大切さを教わりました。話す、聴く時の基本姿勢やお辞儀の仕方など、何気ない普段の生活のあり方を改めて考えさせられました。新卒求人と一般求人では、企業から求められる能力や就職環境に大きな違いがあり、雇用形態(正社員、パート、契約社員、派遣労働者、フリーランス)による待遇の違いにも理解を深めることができた。また、講師の先生方の経歴と職業観についての話があ

り、生徒たちが具体的に職業を考えていく上で大きな参考になりました。最後に、全員が模擬面接に挑戦しました。自己紹介のシナリオ作りを行い、面接試験を受けるグループと講師の先生と一緒の評価するグループに分かれ、面接評価シートを使って良かった点や改善点の指摘をお互いに行いました。普段の表情とは違い、やや緊張しながらも真剣な表情で面接試験に向かう生徒たちの姿が、とても強く印象に残りました。ガイダンスは6時間に及びましたが、大変実りのある時間を過ごすことができました。

1月29日、校内における第3回の就職ガイダンスを2年生就職希望者対象に実施しました。3月1日から就職面接に入ります。就職の最前線に立つ自覚と覚悟を確認しています。何がやりたいのか、何ができるのか、将来の職業について真剣に考えることが大切です。覚悟があいまいだと、就職試験の重圧に耐えられず、簡単に跳ね返されてしまいます。希望する企業から内定を頂くためには、文徳の校風によく馴染み、自分自身を磨いていくことです。高校生は一人一社制であり、校内選考を乗り越え、他校生との勝負に勝たなければなりません。これからの一日一日を大切に、就職試験に向けて本気で準備を進めてください。

文徳高校は頑張る君を最後まで応援していきます。

ご家庭より

1年 普通科

修学旅行はホームページでタイムリーに様子をお知らせ頂き、子ども達の様子がわかり安心しました。先生方も大変だったかと思いますが、とても良い思い出になったようです。お世話になりました。

1年 普通科

早いもので入学して1年が過ぎました。クラスの友達や部活の友達と高校生活をエンジョイしているようなので安心していきます。出会いに感謝です。

文徳連絡メール

協賛事務所について

ご存じの通り本校では、緊急時の連絡手段と致しまして、文徳連絡メール(学校安心メール)を使用しています。

文徳連絡メールは協賛事業所のご協力により、学校及びPTAの費用負担なしに運用できる一斉メール配信システムです。

現在 文徳連絡メールにご協力頂いている2社の協賛事業所をご紹介します。

○あなたと私のゆめタウン

ゆめタウン 大江

○あすを読む

熊本日日新聞社

池田販売センター

現在も協賛事業所は募集中です。保護者の皆様のお近くの事業所、保護者の皆様の中で事業を営んでいらっしゃる方などご協力頂ければ幸いです。

協賛のお申込み、お問い合わせについては、次のURLからご覧ください。

<http://www.tnmx.co.jp/kyousan/>

年度末の文徳連絡メールの登録変更について

新年度が間近となりました。例年この時期に、文徳連絡メールからの登録変更をお願いしています。年度が変わりますと1年生は2学年へ、2年生は3学年への登録変更が必要です。変更しないままですと該当学年のみに発信する情報が受け取れなくなります。受信メールの「運営のしくみ・登録内容変更・配信停止・退会の方はこちら」からアクセスして、手続きを行ってください。

4月6日(土)に新入生へのメール発信を行いますので、3月31日(日)までに変更してください。

崇城大学通信 No.130

ロケット運用技術を活用して
環境にやさしい未来を！
～液体水素燃料でカーボンニュートラルを実現～



工学部 宇宙航空システム
工学科 宇宙航空システム専攻
平嶋 秀俊 (ヒラシマ ヒデトシ) 講師

私は、液体酸素/水素を推進剤とする H-IIA ロケットの運用技術と国内外の文献を調査しながら、推進系システム系統の研究をしています。ロケットが所定の性能を発揮するための重要な要素として、エンジン燃焼前の推進剤の「静(せい)定(てい)」があります。ロケットが無重力の状態では、推進薬の液面が静定せず曲面になり、推進薬をエンジンに供給出来ない恐れがあります。この懸念を解消するため、研究室では、小さな模型タンクを使用し、ショ糖とシリコンオイルを加圧ガスと推進薬に見立て、無重力環境を疑似的に再現し液面の状態を検証します。液面を静定させるには、加速度を加える必要があります。どれだけの加速度が必要であるか、コンピュータで解析もしています。また、液体水素燃料を航空機にも活用する検討も行っています。従来の航空機のジェットエンジンの燃料を液体水素に置き換えることで、カーボンニュートラルな社会を実現することも夢ではありません。ロケット運用技術を生かした環境にやさしい未来の革新的な技術を、これからも研究していきます。